

スマイル

仙台市立錦ヶ丘中学校
第一学年だより 第14号
発行:令和5年11月15日
文責:鈴木 修一郎

真剣な眼差しで、校外学習



11/8(水)に、校外学習を実施しました。雄勝と南三陸の2コースに分かれて、被災地を訪問しました。これまで防災学習として、様々な災害の知識や対応方法を学んできましたが、実際に被災地を訪

問することで、当時の状況や心情を感じたり、災害に対する知識や、「自助」「共助」の大切さを理解したりすることができました。また、中学生として取るべき行動や態度についても考えることができました。

当日は、少し風が強く、肌寒い中ではありましたが、澄み渡る空のもと、学習に臨みました。

大川小学校を訪問した際は、倉庫やステージ控室だけを残して無くなってしまった体育館、太い柱が折れて倒れてしまった渡り廊下など、大人の私たちも言葉を失ってしまうほどの光景を目の当たりにしました。語り部の方々が当時を思い出しながら語ってくれる内容に、生徒



たちは真剣にメモを取りながら聞き入っていました。

また、雄勝コースではモリウミアスを訪問しました。モリウミアスは「地域復興に貢献しよう」という思いを持った方々が集まり、SDGsを柱に様々な取組をしています。施設では豚や鶏などを飼っており、生徒たちも楽しいひと時を過ごしました。

南三陸コースでは311メモリアルや震災復興祈念公園を訪れ、被災の様子を感じ、「自分ならどうするか」というテーマで意見交換しながら、考えを深めることができました。

校外学習は、1学年だけで行う、初めての大きな行事でした。バスの中やお土産を買う様子など遠足のように楽しむ姿や、真剣に学習する姿など、教室では見られない、生徒の様々な姿を見ることができました。

今後は、個々の学びをしっかりとまとめて、発表に向けた準備を進めていきたいと思えます。

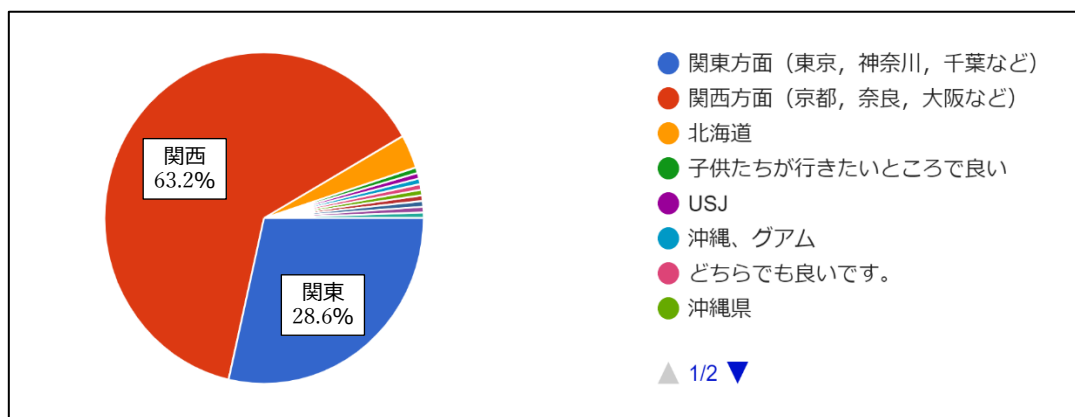


令和7年度 修学旅行アンケート結果

早いもので、中学校3年時の修学旅行について準備を進める時期となりました。先日実施したアンケートへの御協力に感謝申し上げます。アンケート結果（182/220 家庭の御解答）を下の通りお知らせいたします。

アンケートの結果を踏まえ、「関西方面、USJ、寺社仏閣等日本文化や歴史に関する学習」を柱に準備を進めて参ります。研修先や研修内容など、今後検討すべき事項は多岐に渡りますので、アンケートの御意見に沿いきれない部分も出てこようかと思いますが、各御家庭の御意見を参考にさせていただきます。

① 令和7年度修学旅行の行先はどの方面が望ましいと思いますか。



② 求める研修先・体験内容（回答内容をAIにて分析、頻出度の高い語句を大きく表示）

